

デービッド・キルガー氏とデービッド・マタス氏 の中国政府声明文への返答

2007年7月7日

我々が2006年7月6日、「中国における法輪功学習者を対象とした臓器狩りの告発に関する調査報告」と名づけた報告書を公表した後、中国政府はこの報告書への応答として声明文を発表した。この声明文はウェブサイト <http://www.chinaembassycanada.org> に掲載されている。この声明文に対して我々は次のように回答する。

1. 中国政府の声明文は、我々が報告書を発表した日と同日に公表された。中国政府のこの声明文は、我々の報告書を入手していないのに、この報告書を否定した。この反応は軽率なものであると思う。このことは中国政府は何の調査も行わずに報告書に書かれている事柄が真実かどうかを判断したことを意味している。

2. 中国政府の声明文は、「法輪功は『蘇家屯強制収容所』のうそを暴かれた後、自らの困窮する立場から脱出するために、法輪功は中国での臓器移植を非難する作戦に変更した」という書き出しで始まっている。

この言葉はいくつかの面で間違っている。まず、この声明文では我々の報告書は法輪功の報告書だと言っているが、それは違う。我々は法輪功学習者ではない。我々はボランティアとしてこの報告書を作成したのであり、法輪功、あるいは他の誰かがこの報告書に対して我々に金銭を支払ったことは皆無である。我々の報告書は自らの判断を述べただけである。我々は法輪功または他の人からの指示によって調査を行い、そして結論を出したのではない。

3. 中国の声明が冒頭で言及した蘇家屯強制収容所に関する主張は、蘇家屯病院の外科医の前妻が証言したものであるが、この人は法輪功学習者ではない。彼女は自分が言ったことを変えたり、修正したりすることはこれまで全くない。デービッド・キルガーが彼女をインタビューした。インタビューの内容の一部は我々の報告書の付録13に記されている。

4. 報告書でも書いたが、この女性はいそをついておらず、彼女の話は信用できると我々は判断している。

5. 我々はこの証人のみによって、報告書の結論を出したわけではない。この証人の証言について我々は報告書にこう記している。

「臓器収奪に加担したといわれる医師の妻の証言は十分な信用性がある。その理由の一つ

は、その詳細な内容である。しかしあまりにも詳細であるためその一つ一つを裏付ける事は困難である。我々は一つのソースから得られた情報によって判断する事は避けたい。それゆえこの証言のうち他の証拠とつぎ合わせる事が可能で矛盾しないものだけを取り上げることにした」

我々の報告書は単にこの証言から出したものではなく、むしろ蘇家屯病院に限定せず、もっと視野を拡げて見た結果である。

6. そして中国の声明文は次のように言っている。

「彼らの目的は明らかに中国のイメージを汚すことである」

我々は中国のイメージを汚すつもりはない。我々の唯一の関心事は、真実と人権への尊重である。

7. 中国の声明文は、その後続けて次のように言っている。

「中国は一貫して、人体臓器の売買禁止、そしてドナー自身によって書かれた同意書の事前取得、そして同意書の有無にかかわらずドナーは最後に臓器の寄贈を拒否する権利があると明記した1991年にWHOが承認した指針を遵守している。」

その声明は事実によって嘘であることが裏付けられている。中国国際移植ネットワーク支援センターのウェブサイトでは、今年4月までは移植臓器の価格表を掲載していた。その価格表は4月に削除されたが、当時の文書がアーカイブとして保存されている。同センターのウェブサイトは <http://en.zoukiishoku.com>、また同センターの当時の文書を見るには、<http://archive.edoors.com/render.php?uri=http%3A%2F%2Fen.zoukiishoku.com%2Flist%2Fcost.htm&x=16&y=11> を参照していただきたい。また多くの人々について、中国での臓器移植のために金を支払ったことが検証できる。

8. 中国はドナーによって書かれた同意書を事前に得る必要があるという規定を一貫して遵守しているという声明も事実によって嘘であることが裏付けられている。処刑される囚人からの了承を得る例はほんの一部にすぎないという、ヒューマン・ライツ・ウォッチの報告書がある。この団体は、このわずかなケースさえについて、次のように書いている。

「中国では拘束中及び監禁中の虐待環境によって、死刑を言い渡された時点から処刑が執行されるまでの間の『自由意志と本人意思による了承』という概念は荒唐無稽な話となる」
(「中国における臓器売買と死刑執行」1994年8月)

9. 中国当局の声明文は引き続き、次のように言った。

「中国は医療上の安全と患者の健康を守るために、人体臓器移植に関して明確に売買を禁止し、そして臓器移植の一連の医学基準を導入する法規を公布した。この法規は、人体臓器移植手術を実施する資格を有する医療機関は省のレベルの健康部門に登録するように要求している。未登録の医療機関は臓器移植手術の実施を禁じられている。もし、政府に登録された機関が法規に違反したことが発見されれば、政府はこの登録を取り消し、または責任者に懲罰を与える」

我々は、これも事実によって嘘であることが裏付けられていると認識しており、そのことは我々の報告書にも書いてある。また我々は数日前に、この法規の施行日が7月1日であることに気づいた。これは、施行日以前に発生していることに関する我々の結論に対する応答にはならない。さらに、中国においては法律の制定と法律の実施の間に巨大な格差がある。

10. その次に、中国政府は次のように述べている。

「法輪功のうわさには、潜在的な政治目的があることは明らかである」

我々の結論はうわさに基づくものではない。我々が達した全ての結論には出所があり、そしてそれぞれ検証できるものである。

11. 中国当局の声明文は、次に言った。

「従って、数人のカナダ人によるうわさと虚偽の主張に基づくいわゆる『独立調査報告書』は無根拠で先入観にとらわれたものである。うわさはいつも不完全なものであり、千回繰り返しても決して真実にはならないと、我々は思っている。我々はカナダの人々が法輪功の虚偽にだまされることがないように、そしてもっと多くの人々に法輪功の邪教の本質を知ってもらいたいと願う。」

この結論は我々と法輪功への攻撃である。報告書への判断は、報告書自体に基づくべきである。報告書の作者を攻撃することは適切な応答ではない。

第二に、法輪功を「邪教」と呼ぶことは、法輪功に対して積み重ねている中傷を裏付けている。中国においてこの類の誹謗こそ、法輪功を非人格化、非人間化し、そして彼らの基本的人権を剥奪することを可能とするのである。

無実の市民団体を「邪教」と呼ぶことは、憎悪の煽動の一種であり、これはカナダにおいては前例のないことである。中国はカナダにおいて、このような煽動活動に従事するために、彼らの外交身分を濫用しているのである。

更なる詳しい情報については、デービッド・キルガー: 1 (613) 747-7854、
デービッド・マタス: (204) 944-1831 に連絡をとっていただきたい。

調査報告書の全文は、次のウェブサイトでダウンロードできる：

<http://organharvestinvestigation.net> | <http://investigation.go.saveinter.net>